

令和7年度第1回高知県産業振興計画フォローアップ委員会水産業部会 主な意見等

日時：令和7年10月24日（金）14:00～15:05

場所：高知城ホール 多目的ホール

出席：委員10名中、9名が出席

議事：（1）高知県産業別若者所得向上検討チーム＜養殖業＞について

（2）第5期産業振興計画＜水産業分野＞の令和7年度上半期の進捗状況及び強化の方向性について

議事（1）（2）について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要

（1）高知県産業別若者所得向上検討チーム＜養殖業＞について

- ・意見等特になし

（2）第5期産業振興計画＜水産業分野＞の令和7年度上半期の進捗状況及び強化の方向性について

（西内部会員）

- ・説明にあった新しい養殖対象魚種のセンネンダイについて詳しく教えていただきたい。

（土居水産業振興課長）

⇒センネンダイはフエダイに近い魚。南方系の魚であり、本県では定置網でごくまれに獲れる希少な魚であるが、味はとてもいいと聞いている。

（西内部会員）

- ・どれぐらいの単価を考えているか。

（土居水産業振興課長）

⇒まだ市場で多く流通していない魚であり、地域内で消費されている魚である。

⇒そのため、売値の部分が想定はできていないが、大阪・関西万博でスシローが未来型の魚としてセンネンダイを取り上げていた

（中田部会員）

- ・マルチ漁業化について、沿岸漁業では以前から既に何隻か実施されているのではないかと思います。

- ・（かつお・まぐろ漁業などの）漁船漁業の方でも 2021 年に不漁問題があつてこういう話が出てきているが、県としては沿岸漁業だけという考え方か、それとも（かつお・まぐろ漁業などの）漁船漁業も含めてという考え方か。

（土居水産業振興課長）

⇒現時点では沿岸漁業を主体で考えている。

⇒（支援制度の内容としては）例えば、経験の浅い方でメジカやサバを釣っている方が、カツオやキハダを釣りたいと思ってもまだ技術が十分身についていない場合に、この研修で技術を身につけてもらう。そして、キハダを釣りに行く際に、餌である生きたメジカを入れる船の魚倉の拡張などが必要な場合に、その改修費用に対して補助を行う。

⇒規模としてあまり大きくない沿岸漁業を主体に考えている。

（中田部会員）

- ・漁業者として（マルチ漁業化は）進めていくべきと考えている。
- ・近年高知の沿岸漁業は低迷していると聞いているので、どんどん進めていってもらいたい。
- ・今の段階では沿岸漁業が主体ということだが、かつお・まぐろ漁業含めた漁船漁業の方でも検討したい。

（奥本部会長）

- ・今回の説明は産業振興計画の肝になる部分かと思う。
- ・養殖業も今後ますます水温が上昇していくことが考えられる中で、新しい魚種も検討していかなければいけないと思うので、よろしく願いしたい。

（奥本部会長）

- ・担い手として、今後女性の漁業者を増やしていきたいということはよく分かったが、その女性を指導するのは男性になってしまう。
- ・そのため、漁業就業支援センターの方でも、女性の立場で漁業が分かっている人が必要なのではないかと思う。
- ・トラブルがある可能性があるので、そのあたりは対応できるように検討していただきたい。

（山下水産振興部長）

⇒おっしゃるように、今まで女性の新規就業者が少なかったので気づいていなかったが、特に自営型を始めるときに男性が教えるようになるので、ハラスメント対策なども今後やっていく必要があると考えているため検討していきたい。

（以上）